

トリナ・ソーラー「新ひだかソーラーパーク発電所」に21MW供給契約締結

Tokyo, Japan 2016年11月10日//---太陽電池(「PV」)モジュール、ソリューションおよびサービスにおいて世界のPV業界をリードするTrina Solar Limited(NY証券取引所:TSL)(「トリナ・ソーラー」または「当社」)は、北海道新ひだか町における「新ひだかソーラーパーク」向けに、スマートソーラー株式会社(「スマートソーラー」)から、21MWのPVモジュールを受注し、供給契約書に調印したことをお知らせします。トリナ・ソーラーは、スマートソーラーにより開発された9MWhの日本最大規模のリチウム蓄電池とその制御システム、旧ゴルフ場の地形を活かしたまま太陽電池パネルを設置するために開発された三次元架台「スマート アレイ2X」の導入を特徴とする本プロジェクトに、2016年末から2017年に10月の期間に渡って、モジュールを出荷する予定です。商業運転開始は2017年11月を予定し、年間12,500トンの二酸化炭素削減効果と、最大6,500世帯分のクリーンエネルギーの生成が期待されています。



(「新ひだかソーラーパーク」完成予想図)

【蓄電池付メガソーラー発電所概要】

事業主： 合同会社 SS ひだかの森
 発電所名： 『新ひだかソーラーパーク』
 最大出力： 17MW(太陽電池パネル設置容量:21MW)
 蓄電池容量： 9MWh(リチウム蓄電池)
 年間予想発電電力量： 2,260万kWh(一般家庭約6,500世帯相当の年間消費電力量)
 買取価格： 40円/kWh(消費税含まず)
 売電開始： 2017年11月(予定)
 環境貢献： 石油削減効果(5,132kℓ/年)二酸化炭素削減効果(12,500t-CO₂/年)

■Trina Solar Limited(トリナ・ソーラー)

トリナ・ソーラー(NY証券取引所:TSL)は、太陽電池モジュールおよび太陽光発電システムインテグレーションのグローバルリーダーです。1997年に太陽光システムインテグレーターとして設立以来、トリナ・ソーラーは、世界中の施工、販売、ディベロッパーなどのパートナーの皆様と共に、“Smart Energy Together”(「みんなでスマートエネルギー」)を推進しています。優れた革新性、高品質、垂直統合による一貫生産体制、環境責任を軸にトリナ・ソーラーはより良い社会づくりに取り組んでいます。詳しくは、<http://www.trinasolar.com>をご覧ください。

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社 プレス担当:春日(マーケティング)
 TEL.03-3437-7000(受付時間:月~金 ※祝日を除く(9:00~18:00))